

安定性を高めた，第2世代型 高負荷流動床式嫌気性処理装置 PANBIC-EC システム

1984年に国内で初めて産業排水向けに嫌気性排水処理システムの納入を行った当社は，固定床式のPANBIC-F システムから流動床式 PANBIC-G を経て，高負荷型流動床 PANBIC-H システムと着実にその性能を高め，「省エネルギー性」とメタンガスの回収による「創エネルギー性」を実証してきました。

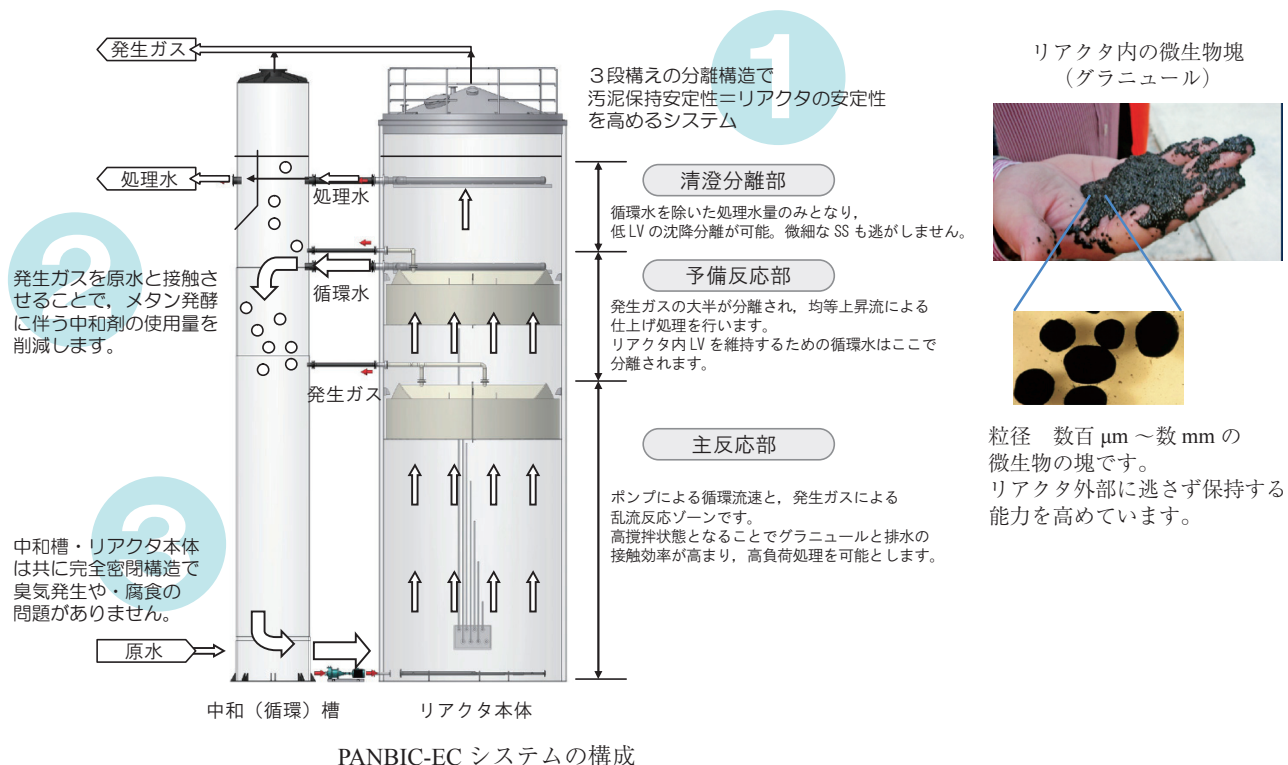
現在，嫌気性処理による排水からのエネルギー回収を行うことは，もはや当たり前のこととなりました。しかしながら，リアクタの安定性は，リアクタ内部にグラニューールと呼ばれる微生物の塊を逃がさずに保持できるかに依存します。高負荷流動床システムが適用できる分野は，排水の性状が安定している食品・飲料工場や，生分解性に富む特定の化学工場や紙・パルプ工場などに限られてきました。

当社では微生物の保持能力を大幅に高め処理安定性を確保した，第2世代型高負荷流動床嫌気性処理システム「PANBIC-EC システム」をラインナップに加えました。

これまで高負荷流動床型の適用が難しかったユーザー様を含め，嫌気性処理の適用範囲を大幅に広げ，販売活動を展開していきます。



リアクタ外観



※当該技術は，オランダ Hydro Thane STP BV 社との技術提携により実現するものです。